



日本共産党品川区議会議員

週刊 みやざき克俊

事務所 品川区豊町6-2-1 Tel.3786-6674

2008年3月30日 No.612

日本共産党品川区議団ホームページ <http://www.jcp-shinagawa.com/>

「この記事を印刷して
お持ちください」



08年度予算
が可決・成立

区民負担さらに

品川区自ら低賃金・不安定雇用を拡大



品川区の08年度予算案や後期高齢者医療の条例が3月27日の区議会本会議で賛成多数で可決しました。日本共産党は、区民の願いに背を向け負担を押し付ける予算に反対しました。ウラ面に日本共産党区議団の意見(要旨)を掲載しています。

後期高齢者制度が4月からスタートします。品川区議会では自民・公明・民主ら日本共産党以外すべてが後期高齢者医療制度の予算に賛成してしまいました。

荏原文化センターで開催された品川区の後期高齢者医療制度の説明会(3月13日 写真)では、参加者から「低所得者の保険料が増えるのはおかしい」、「年寄りは何十年も保険料を払ってきたの納得できない」、「戦中戦後を生き延びてきた年寄りに冷たい」など、次々に怒りの声がだされました。制度に賛成した議員たちは高齢者の気持ちを理解しているので

でしょうか。
日本共産党は制度の早期の中止、撤回へがんばります。

日本共産党は08年度の一般会計、国民健康保険、後期高齢者医療、老人保健、介護保険の各予算に反対します。相次ぐ増税と社会保障の切り捨て、雇用破壊、貧困と格差が拡がるなか、品川区の新年度予算は品川区自ら低賃金不安定雇用を生み出し、格差を広げるものです。一方で600億円超の基金を貯め込んでいることは自治体の役割を投げ捨てるものです。以下、問題を指摘します。

第一に区民への負担増です。

後期高齢者医療制度は、75歳以上の国民を別枠の制度に困い込み、受けられる医療を制限、保険料は年金から天引きし2年ごとに値上げ、払えなければ保険証取り上げ負担増と給付減を強いる世界でも例のない高齢者イジメの制度です。

介護保険では基金積立金が20年度末で20億円余、高齢者一人あたり3万円余も貯め込みながらヘルパー派遣など削減。滞納

世帯が25%なのに国保料の値上げは限界を超えています。

第二に、今年も80億円余もの税金を注ぎ込む再開発です。

東五反田二丁目の開発では野村・三井不動産のマンションのグレードアップに親水護岸を整備して支援。大井町駅周辺では広町開発構想が頓挫したのに計画を拡大。大型店舗を誘致、商店街に大打撃を与えてきた再開

品川区08年度予算案に対する 日本共産党の意見表明

発の拡大方針は容認できません。また、武蔵小山の開発ではビル風の被害を本人の不注意のような態度は許されません。

第三に区民サービス丸投げ、不安定雇用を作り出している問題です。

品川区は民間委託を拡大し低賃金の派遣やアルバイトなど非正規雇用を生み出しています。派遣職員で実施している夜間保

育では、品川区が派遣会社に時給2千6百円支払いながら保育士本人には1千8百円。いま三人に一人は非正規雇用ですが、ある学校では委託業者が配膳時間間に合わない事態も起きています。

第四は住民福祉の削減です。特別養護老人ホームは入所待機が450名もいるのに増設せず、利用料が月16万〜28万円も

する有料老人ホームを建設します。また、低家賃の区営住宅は建設しないが、再開発で超高級マンションに膨大な税金を投入して建設を応援しています。

保育園保育料は2子以降の保育料を軽減するものの、あらたな階層を設けて値上げ。子育ての負担軽減と、保育園に入れない子どもが激増するなか「待機児ゼロ」を目指すべきです。

第五に、学校の統廃合です。現在、教育長の諮問機関「学事制度審議会」が非公開で統廃合問題を審議しています。「過小校は子どもの成長に懸念がある」などと小規模校を否定し強引に統廃合を進めることはやめるべきです。少人数の30人学級こそ実現するべきです。日本共産党は、「住民が主人公」の区政に転換するよう求めます。

以上

お困りのときは
お気軽に **ご相談ください**

●くらし・区政の問題はいつでも受付けます。

●無料 **法律相談** は **4月18日(金)**
弁護士が対応します Pm6:30~です。



日本共産党 **みやざき克俊** 事務所

品川区豊町6-2-1 TEL3786-6674